

進路たより



～ 3年生のみなさんへ ～

採用試験や推薦入試の中で、面接がとても重視されています。あなたの声の大きさや明るさ、話す内容など、すべてがあなたの自己アピールとなります。夏休み前には外部講師による面接指導、そして、2学期初めには全職員による面接指導が行われます。これらの機会も利用しながら、各自で何度も練習を重ね、本番に備えることが大切です。

ただ、練習することも大事ですが、普段から笑顔や声の大きさ、言葉の使い方などを意識して生活することが何よりも大事です。日々の生活の中から、面接の準備はすでに始まっていると心掛けましょう。

～ 1, 2年生のみなさんへ ～

進路実現に向けて・・・

小論文力を身につけよう！

1、2年生のみなさんも、一度自分の高校卒業後の姿を考えてみましょう。まだまだ先のことと思っている人も多いかもしれませんが、今からできる準備をしておくことが大切です。

ここ数年、山商では、大学進学を考える人が増えてきていますが、大学入試では小論文を課すところが少なくありません。みなさんの中には「まあ、自分の体験や感想を書けばいいだろう」と軽く考えている人もいますが、小論文は「作文」ではありません。小論文を書くには、

- ① 論理的な文章力 ② 自分の意見 ③ 社会問題や時事問題についての知識
④ 読解力 等々・・・

が必要になってきます。英語で出題される場合は、当然、英語力も必要です。これらの力を身につけるとなると3年生になってからでは手遅れです。3年生になって、「あの時もっとやっていたら・・・」と後悔する結果になってしまうことにもなりかねません。

そうならないためにも、今から準備を始めましょう。いろんな準備方法がありますが、ここでは身近な新聞のコラムを使った小論文トレーニングを紹介します。

☆ 小論文のトレーニングを する上でのコツ！



○新聞の記事を集めてみる

まずは、10分程度、新聞全体にゆっくり目を通します。その中で、気になったニュースや単語をノートに記録して調べてみましょう。毎日続けることができれば、小論文のネタの引き出しを増やすことができ、世界の動きも理解できるようになります。

○コラムを読む

新聞の1面にある短評欄のことで、朝日新聞には「天声人語」、毎日新聞には「余録」中日新聞には「中日春秋」などのコラムが掲載されています。意見や提言などしっかり記されていますが、社説に比べて柔らかくわかりやすい文章になっていることが多いので、読みやすいと思います。新聞に慣れるためにも、積極的に読んでいきましょう。

○社説に注目

社説は、現在大きな問題となっている政治経済等の社会現象を解説し、新聞社としての意見や主張をまとめた論説文で、入試問題の題材となることもあります。

難しい内容や言葉に圧倒されるかもしれませんが、文章の構成や展開の仕方、様々な視点の提供などは、小論文作成の参考になります。根気よく読み続けてみましょう。

～ 進路対策に図書館を使おう！ ～

～進路実現のために図書館でできること～

図書館では、みなさんの進路実現を応援するため、4つのコーナーを準備しています。進路指導室の帰りに、一度立ち寄ってみてください。

○進路コーナー

- ・就職、大学進学、公務員受験等に役立つ本を集めたコーナーです。
- 【就職】職業紹介、就職試験対策本（面接・SPI・適性検査・一般常識など）
- 【大学】大学学部紹介、大学入試対策本（小論文・面接など）
- 【公務員】公務員試験対策本（国家公務員、地方公務員、警察官、消防士など）
- 【時事用語】どの進路でも必要とされる時事用語の知識。最新時事用語集と解説を揃えています。

○図書館で読める新聞

- ・朝日（当日分） ・中日（前日分） ・毎日（前日分） ・伊勢（前日分）
- ・中日スポーツ（当日分）
- 朝日新聞のみ、1年分書庫で保管しています。過去の記事を読みたいときは、カウンターに声をかけてください。
- ・新聞ダイジェスト（月刊） 6つの新聞社の、1カ月分の主要記事を分野別に整理してある雑誌。記事を読み比べて、より深く知ることができます。

○新聞切り抜きファイル

- ・時事問題対策に使える新聞記事を、分野別にファイルしてあります。コピーができるので、カウンターに声をかけてください。

○小論文対策 新書コーナー

- ・小論文を書くために必要な知識を蓄えることができる新書を、テーマ別に集めました。